

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年1月1日

事業所名 コペルプラス 八幡教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	指定権者の基準を満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	0	0	基準人員を満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	0	0	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	モニタリングの為のカンファレンス、支援会議は必ず全職員参加で行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	4	第三者評価は未実施。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	社内オンライン研修は随時参加、事業所内研修は毎月1回、社外研修には可能な限り参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	1	決まったプログラムはあるが、個別課題についてはチームで話し合いを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	同じお子様に同じプログラムを行わないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	0	1	3	1時間の個別プログラムの為、登校日も休日も基本的には同じように設定している。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1	0	利用回数によって個別と集団を組み合わせているが、現在集団の利用なし（希望日時が合わない為）	

⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	特に粗大運動に関しては、安全面に考慮し必ず事前に確認している。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	0	0	
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	児発管が参加。会議前には指導員から最新の状況を再確認している。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	0	1	送迎を行わず親子通所の為、通常は学校との調整は行っていない。保護者から希望があれば、連携を図る。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	現在、該当なし。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	0	1	児童発達支援を利用していたお子様中心に利用頂いている為、就学の際に情報共有が必要なことがほとんどない。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	—	—	基本的に低学年まで受け入れの為、学校卒業時に利用がない。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	0	可能な限り研修に参加。また他事業所との交流の機会を設けている。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	1時間の個別療育の為、外部の方と活動する機会はない。
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	4	自治体の自立支援協議会に、相談支援部会しかなく、事業所同士の交流会や勉強会に可能な限り参加するようにしている。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	療育後に必ずフィードバックを行い、情報共有している。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	0	希望者へのペアトレを実施している。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	契約時に全て読み上げ、不明点については更に詳細を説明している。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	日常的にやり取りをし、特に悩みが深い場合は事業所内相談支援を行っている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	0	3	ペアトレの際に他保護者と情報交換ができるようにしている。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	相談があった場合は、一週間以内に時間を設けて対応している。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	毎月1回、教室新聞を発行。Instagramや公式LINEで情報発信している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	マニュアル内容の周知を徹底し、年1回事業所内研修で再確認している。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	4	1時間の個別療育の為、外部との交流は行っていない。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	火災訓練は年2回、地震・水害は年1回の訓練を行っている。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	年間複数回の研修に参加している。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	身体拘束を行う条件、時間、方法について説明し、了承頂いている。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	—	食事の提供はないが、アレルギーについては利用開始前に必ず確認している。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	全国の事業所の事例を社内ネットで共有している。